



その他 自由に記入してください。（800字～）

この留学生活では、質の高いアメリカの教育を受けることができ、留学の目的でもあった、自分の研究分野での知識を深めることが出来た。勉強以外に留学生生活を充実させるコツとしては、人との出会いを大切にすることである。ほとんどの留學生が、誰も知り合いがない状態で留学生生活をスタートさせるであろうが、英語でのコミュニケーションに臆することなく、現地で出会う人と交流することが大切だ。はじめに仲良くなるのは、各国から集まった留學生達であろう。学期のはじめにあるオリエンテーションで顔を合わせるが多く、留學生向けのイベントなども用意されているため、自然に仲良くなれるだろう。私の場合、長期休暇のときには、ヨーロッパにある彼らの実家を訪れ、数日間滞在させてもらった。また、現地で生活する日本人のコミュニティも大切にした方がよい。優秀な大学院生や研究員、駐在の省庁職員、こちらでビジネスを行う社会人などと、フランクに飲み明かせるのはアメリカという外国の地だから出来ることであろう。ピッツバーグには、日本人のメーリングリストがあり、誰かが帰国するとなるとガレージセールの知らせが届いたり、ものを譲って頂いたりした。私は特別なクラブなどに所属していなかったため、現地のアメリカ人学生とは、同じクラスルームから友だちになるパターンがおおかった。こちらの大学では、1つの授業が週に2～5回あるため、クラスメイトと顔を合わせるが多い。テスト前にノートを見せ合ったり、書き上げたレポートを確認したり、授業のテーマに関する問題について議論したりしたのは良い思い出である。留学の後半からは、寮を出て、大学からバスで15分ほど離れたSquirrel Hillという場所でアパートをシェアしていた。学生ばかりいる大学周辺とは違い、学生以外の人たちが多く住んでいたが、長く住むうちに地域にとけ込むことが出来た。近所の繁華街では、映画館やカフェ、ビアストアで働く地域の人たちと仲良くなり、サービスしてもらったことが多かった。このように、知り合いが0の状態から、ピッツバーグを去る頃には、様々な人との別れを惜しく感じていた。これから、留学を考えている人たちには、勉強はもちろん、Social Lifeも充実した留学生活を送って欲しい。